

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【公開番号】特開2007-31437(P2007-31437A)

【公開日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-005

【出願番号】特願2006-203476(P2006-203476)

【国際特許分類】

C 07 C 45/63 (2006.01)

C 07 C 45/81 (2006.01)

C 07 C 49/80 (2006.01)

【F I】

C 07 C 45/63

C 07 C 45/81

C 07 C 49/80

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月10日(2009.4.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

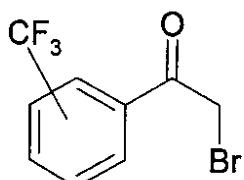
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)

【化1】

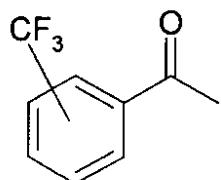


(I)

で表される臭化トリフルオロメチルフェナシル(芳香環は、任意選択で1種以上の同一または異なる基によってさらに置換されていてもよいの製造方法であって、

任意選択で置換されていてもよい式(II)

【化2】



(II)

で表されるトリフルオロメチルアセトフェノンを、溶媒の非存在下に、または、水との相溶性が低からゼロである溶媒の存在下に、少なくとも1種の臭素化剤によって臭素化し、

臭素化後に得られた粗生成物から、任意選択で置換されていてもよい式（I）で表される臭化トリフルオロメチルフェナシルを、-78 ~ +15 の少なくとも1つの温度で、少なくとも1種の有機溶媒中で、結晶化させることを特徴とする方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

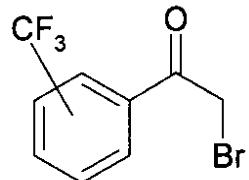
【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【化1】



(I)

で表される臭化トリフルオロメチルフェナシル（芳香環は、任意選択で1種以上の同一または異なる基によってさらに置換されていてもよい）の製造方法であって、

任意選択で置換されていてもよい式（II）